

2017年(平成29年)3月1日 水曜日



善 友 会

# 関 西 善 友 会 を 発 足 し

## 寺 院 の 活 性 化 を 目 指 す

「檀家制度を廃止する」<sup>1</sup> げた善友会には、各宗派のことを打ち出して注目され、僧侶が参画し、葬儀・法事でいる曹洞宗の橋本英樹見への僧侶派遣を行ってい性院住職が立ち上げた有志。見性院が事務局を務め、僧侶の会の善友会が22日、連絡事務を行い、仲介料は第4回研修会を京都市の和取っていない。

順会館で開き、合わせて関西善友会を発足させた。西善友会では、釣島平三郎研修会では、太成学院大学経営学部教授

僧侶派遣会社が乱立し、より僧侶への厳しい提言をお布施の低価格化や僧侶の質の低下に歯止めがかからずの視点を考える講義を作りたい」と話している。

続いて、経営者から宗教者へと転身し、今も年間1200人の若者に「人間繁盛の法則」を説く井本金勝が、人間繁盛海勝光寺住職が、人間繁盛て研鑽を積んでいきたい。という言葉に行き着いた半生を語った。

また、橋本住職は自身の関西善友会を立ち上げた。また、橋本住職は自身の経験を通して助言。檀家制僧侶派遣のための人材育成度廃止を宣言後、旧来の檀を進め、寺院経営の互助が家総代から猛反発を受けたできる人材のネットワークが、信者は急増し增收とを作りたい」と話している。

なったことや、反発した総代らも寺院を離れず関係を保っている現状などを話した。(写真)